

2015年の今、西岡昌紀（まさのり）氏が重要な論客で歴史上の生き証人。

「今こそ、言論の自由と差別反対との折り合いとを考える」

1995年 マルコポーロ事件

当時、文藝春秋社が発刊していた月刊誌『マルコポーロ』上で、西岡昌紀氏は「アウシュビッツにガス室はなかった」とする自説を寄稿。直後、文藝春秋社は、ユダヤ系人権団体サイモン・ウィーゼンタール・センター（Simon Wiesenthal Center、略称SWC）とイスラエルからの抗議を受けました。この結果、文藝春秋社は、著者である西岡氏に相談しないまま、記事の内容を撤回・謝罪した上、『マルコポーロ』を廃刊にし、編集長であった花田紀凱（かずよし）氏を解任しました。

西岡昌紀氏の論文の是非については色々意見が別れるでしょう。西岡昌紀氏の論文とは考えが違う方々も歓迎しますので。自分の考えとは違う意見が大手メディアに掲載された場合、どう対処すべきか。共に考えましょう。

イベント企画の趣旨を詳細に述べたのは以下

<http://goo.gl/W3AXoQ>

2015年の今現代につながる問題

在特会など行動する保守

ヘイトスピーチ

差別反対活動家たちの圧力問題

ヘイトスピーチ規制法の是非

サイモン・ウィーゼンタール・センターへの毀誉褒貶

あれから20年がたっても、いまだに言論の自由と差別問題と圧力との問題でもめています。

差別問題と、言論の自由との折り合いはどうすべきか？

その歴史上の生き証人を招致して、語り合える機会をいかしたいです。

シチズンのマスターも元左翼の魂のある気骨のある方です。「在特会でもお受けする」と公言しています。

講演会の前に早めに会場でランチもできます。

講演会後の懇親会は、事前に予約制で、15人少人数限定でさせていただきます。

西岡氏は話題豊富。海外に詳しく、外国語ができる。海外のクラシック音楽に詳しく歴史上の偉人とも接してきました。堅苦しい問題だけでなく、楽しい話題もできそうです。

15～17時なので、お茶会とスイーツバーとを兼ねたようなものを予定しています。シャンパンやワイン、チーズやスイーツ、そしてコーヒーか食後酒とミニアルディーズなど。

懇親会の詳細なプログラミングは以下

<http://goo.gl/Ie0mlT>



イメージ写真

<http://goo.gl/tWMZgD>